

脳神経外科を受診している患者さんへ

当院では下記の研究を実施しています。この研究は、津島市民病院倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「研究担当者」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	脊椎・脊髄・末梢神経疾患における治療の有効性・安全性・予後に関する研究
研究対象期間	2024年04月01日から2029年03月31日まで
研究の対象となる方	当院で治療を受けた脊椎・脊髄・末梢神経疾患の方々 【具体的な対象者】 ・変性疾患（頰椎症・腰部脊柱管狭窄症・椎間板ヘルニアなど） ・外傷（椎体骨折など） ・腫瘍（上衣腫・髄膜腫・神経鞘腫など） ・感染性疾患（化膿性脊椎炎・硬膜外膿瘍など） ・血管障害（特発性硬膜外血腫・硬膜動静脈瘻など） ・先天性疾患（脊髄係留症候群など） ・末梢神経疾患（手根管症候群・肘部管症候群など） ・手術後合併症や再手術を要する症例
研究目的	脊椎・脊髄・末梢神経の病気は、痛み・しびれ・手足の動かしにくさなど日常生活に大きな影響を与えます。それらの治療には保存的治療（薬物療法・リハビリテーションなど）や手術がありますが、どのような治療がそれぞれの患者さんにとって最も効果的かつ安全なのかは今も検討が続けられています。本研究は当院で行われている脊椎・脊髄・末梢神経疾患の治療成績に焦点を当て、治療の有効性・安全性・予後（その後の経過）に関する情報を収集し客観的な評価を行うことで今後のより良い治療戦略や患者ケアの改善につなげることを目的とします。
研究に用いる診療情報等の種類	本研究では以下のデータを収集します。 ●診察・問診で得た臨床情報（痛みの部位・麻痺の程度など） ●採血検査・心電図などの臨床検査結果 ●レントゲン・CT・MRIなどの画像検査結果 ●手術の画像・動画 ●手術で摘出する病変組織 ●治療の経過（症状の経過、術後の症状など） いずれの情報も患者個人を特定できる情報は削除し、匿名性を確保したうえで利用します。また本研究で使用するデータは通常の診療・治療において必要なものに限り使用します。新たな検査や治療・通院の追加など、患者さんにご負担をおかけすることはありません。
研究方法	当院で脊椎・脊髄・末梢神経疾患に対して治療を受けた方々から得た上記のデータを後方視的に抽出し、単変量解析や多変量解析を行います。その結果は必要に応じて論文発表や学会発表などを介して外部へ報告することもあります。
自身の診療情報等の利用又は提供を希望しない場合	本研究への診療情報等の利用を希望しない方は、下記研究担当者まで電話にて申し出てください。ただし、研究解析結果が既に公表されている場合など解析対象から外すことができない場合があります。
研究責任者	津島市民病院 脳神経外科 青山正寛
研究担当者	津島市民病院 脳神経外科 青山正寛 TEL0567-28-5151